

PRESS RELEASE

MILANO DESIGN WEEK 2025

SPREAD EXHIBITION

『Ornamental Contrast』



会期：2025年4月7日(月)―13日(日) 時間：11時―19時

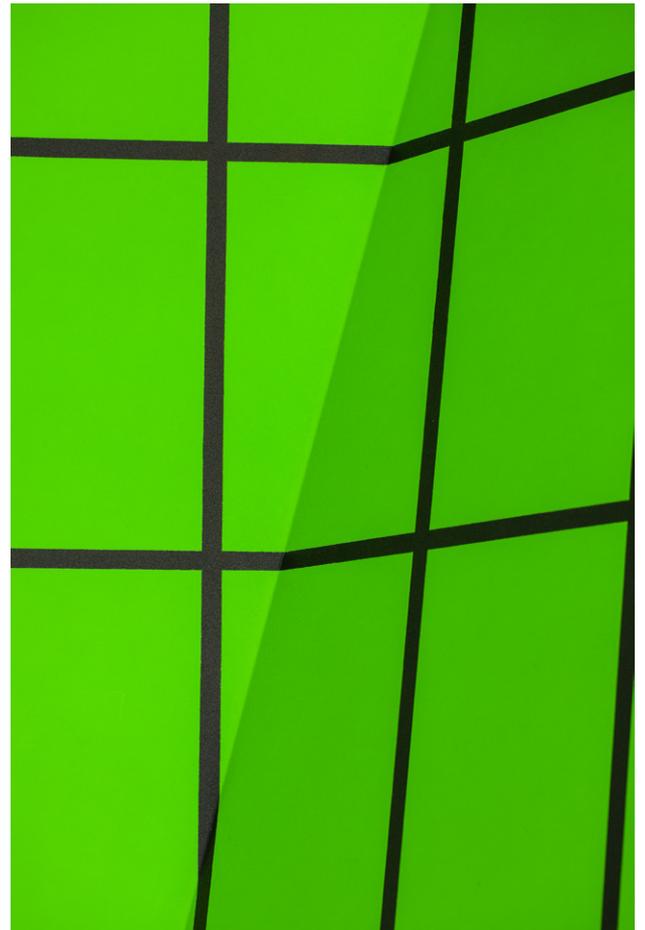
会場：ALCOVA | Former SNIA Factory (Via Umberto I, 69, 20814 Varedo MB, Italy)

「カラーとコンセプト」を特徴に、あらゆる記憶を取り入れ”SPREAD=広げる”を生み出すことを信条とし、グラフィックやプロダクトをはじめ、国内外のエキシビションなどデザイン&ディレクションを行うクリエイティブユニットSPREAD(スプレッド)。この度、2025年4月7日(月)~13日(日)イタリア・ミラノで開催するMILANO DESIGN WEEK2025の期間、デザインプラットフォームALCOVAにてエキシビションを開催します。

色が人々に与える情報を整理し、デザインとして昇華していくことで、これまで色にまつわるさまざまなプロジェクトを展開してきたSPREAD。彼らが創作活動の中で、色のセレクトや構成同様に強く意識する「コントラストが美しい」ということ。彼らが大切にしているコントラストの美しさの原点を探り、掘り下げ、考究し”コントラストの観賞”をテーマに「観賞用コントラスト」と題した作品を日本で発表しました。

本展では、この「観賞用コントラスト」を再び世界の舞台に移し、色の奥に潜む光と闇のコントラストを探る実験によって生まれたスタティックな作品を展示します。会場は、アートとデザインプラットフォームとして毎年注目の会場となるALCOVAの、今年新たに追加されたFormer SNIA Factory(繊維工場跡地)。敷地内には、屋根の骨組みだけが残る壮観なスペースや、コンクリートの隙間から植物が生い茂る一角など、都市の中でさまざま要素が混在する貴重な場所にて、サイトスペシフィックな展示をいたします。大小様々なスチールプレートの表面に異なるテクスチャーを施し、色をのせた作品の数々は、来場者の感覚を覚醒させ、色の奥にあるものの観賞を誘発するでしょう。

ぜひご注目くださいますようお願い申し上げます。



MESSAGE

Colored

色だけのことでない。

世界に色がなくならないように

思考と感情の旅に出ることを願う。

思い返せば、私たちの活動の一部はミラノデザインウィーク (MDW) と共にあった。

初出展は2012年。「デザイナーならミラノに行け!」前年に起こった東日本大震災後に訪れた被災地・石巻で、全てを津波に流された茅葺き屋根職人から言われたこの唐突な言葉が、実はきっかけだった。グラフィックデザインの仕事が大半を占めていたこのときの私たちにとって、プロダクト中心のMDWはどこか畑違いと感じていたが、偶然なる出会いが度重なり出展に至る。発表した作品は、1日の行動を21色に置き換えた生活の模様「Life Stripe」。依頼を受けて行うことがほとんどのデザインの成り立ちの中で、友人の病気をきっかけに私たちが2004年より自主的に制作し続けていた作品であった。ブレラ地区のとても小さなギャラリーでの開催であったが、嬉しいことも辛いことも含め、私たちの今を導いた大きな出来事。つくことで満足せず展覧会を行い社会に開くことの意義、それに必要な準備と作法。日本国内で活動するだけでは気付けなかった価値観の多様性の肯定と責任の有り様。多くのことを学ばせていただいた。「3年は続けないと打ち上げ花火で終わるよ」1年目に言われた謎かけのようなこの言葉に導かれるように、この後4年にわたって自主制作作品の発表をMDWの場で続けることとなった。この4年の活動は私たちの考え方や領域を広げ——始動したばかりの工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」の海外展示、伝統技法を用いた織物ブランドの海外販売、海外流通をターゲットとした新商品ブランド開発、ミラノ大学・サンマリノ大学と協業した体験学習、スイス・バーゼルのミュージアムでの個展——と他のプロジェクトへも連鎖していく。

自主出展した4年間の経験を活かし、次の4年間のMDWは企業や行政の出展に力を注いだ。2016年は、スイスを代表するデザインスタジオ・アトリエ オイが監修した岐阜県のデザインプロジェクトにおいてグラフィックを任せられた。また、日本のメーカーとスイスのディストリビューターと協業し開発した空間裝飾ツール「HARU stuck-on design;」(以降HARU)もMDWにて初公開された。この時、HARUの壁面作品を気に入ったスペイン人の男性が、作品を壁ごと購入したいと申し出た。ツールの作例としてつくったデザインであったが、そんなことはお構いなしに純粋なるアート作品として評価された予期せぬ瞬間であった。壁をそのまま持つていくことは出来なかったので、作品をカスタマイズし彼のバルセロナの邸宅に、その年の夏にインストールした。MDWの魔法的瞬間でもあった。HARUの展開はさらに続く。2017年はパリ拠点のオーガニゼーションのもとMDWに参加。2018年はこれまで2年間の合同展の経験を発展させ初めてHARUの単独展をミラノ中央駅の高架下のトンネルのような空間を30年ぶりに公開したベンチャーチェンラーレで開催。ビジュアルと言葉を空間に点在させ、色を多角的に身体で体験する展覧会に仕立てたことが好評を得て、5万人の来場者を記録。ミラノ市内にカラフルなテープを身の回りに貼った人たちが続出する状況も生み出した。某メゾンのディレクター自らが気に入り、コラボレーション企画が浮上したのも光栄な出来事だった。そして2019年、Alcovaと出会う。前年2018年に始まり、その革新的キュレーショ

ンが噂を呼んでいたこのオーガニゼーションにプレゼンテーションし、高いクオリティレベルのハードルを乗り越えての実現だった。パネットーネ工場跡地の終焉と生成が混在したような800㎡もの広大な空間でHARUによる作品展示を敢行。色が与える体験は来場者が会場で愛し合う状況を生み出し、それはとても美しい光景だった。またこの年、グランドセイコーのプレゼンテーションのグラフィックも担当。時間の持つ揺らぎをビジュアライズした。

自分たちの作品を4年、企業出展を4年行った後、2020年には再び自主作品展を企画した。会場はイタリア軍の施設に移転したAlcova。ところがコロナウィルスによるパンデミックでMDWの開催が延期。あらゆるイベントがオンライン化される中、Dezeen主催のVirtual Design FestivalにAlcovaキュレーションの元で参加する。そして、壮絶なパンデミックを抜け2021年9月にMDWが再開。感染対策として屋外エリアを増やしたAlcovaでは、当初私たちが予定していた60㎡の室内会場も650㎡の屋外会場へと大きく変わったことで、展示作品も大きく変えた。教会横の草木の生える屋外空間には、色が浮遊する新作インスタレーション「Much Peace, Love and Joy」を発表した。苦難の続く世界に色で人々に喜びを生み出したいと願い作り出した作品に「これは、まるで記憶のようだ」——来場者のコメントはさらに素晴らしいものだった。たくさんのメディアで紹介され、その年のMDWを象徴する展示の一つとなった。パンデミックは終わろうとしていたが、まだまだ慎重な時期。来場者も出展者もコロナ前と比べ少なかったが、未来を真剣に探し求めている人が集まっていた印象がある。この時のMDWは、クリエイティブの意義と可能性に求心力を強く感じる出来事になっていたように思う。緊張感があり特別な機会だった。

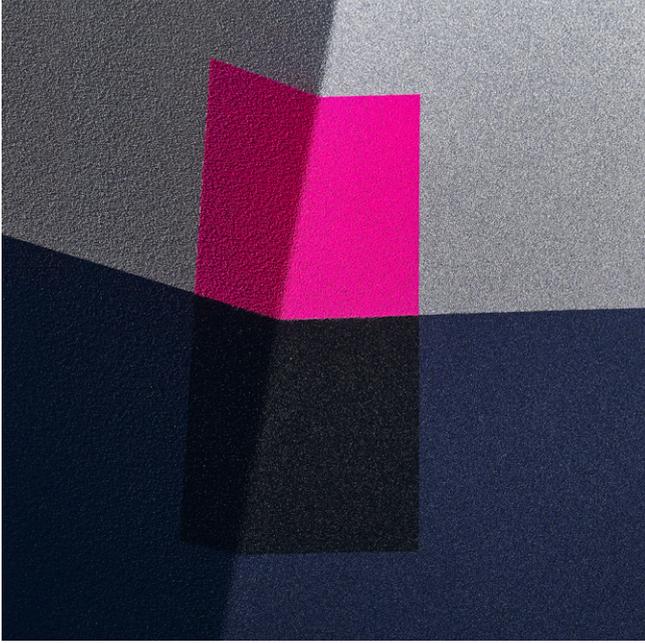
一方で、2022年以降私たちは急激にMDWに興味を失っていく。この頃「コロナ前によく戻った」と多方から聞こえてきたが、「戻ってどうするんだ?先へ進むんだろ!」と思っていた。コマース要素が強くなったことにも違和感を感じ、出展をしなかった。(その代わりにというわけではないが2023年は未経験のマイアミアートウィークに出展。アートとデザインの状況と問題を見つめることとなる。)

2024年の後半にあるキュレーターからコンタクトがあり、中東でのプロジェクトが現在動いている。2021年のMDWで私たちの作品を見てから、依頼できる機会をずっと探ってきたのだという。同時期にAlcovaから届いた新しい会場には、初期の工場跡地にあった終焉と生成が同居する場の魅力があった。MDWは「まだ先が見えない未来へのプレゼンテーション」であることを思い出し、再び挑戦者としてのビジョンが湧いた。

SPREADは、4年ぶりにミラノデザインウィークに参加します。展示するのは「観賞用コントラスト」。これは、我々を取り巻く根源的エレメントをモチーフに、色・形・影・表面からなる多層的なコントラストを探索した作品。2019年に東京のギャラリー(place) by methodで初公開し2020年のMDWに出展を予定していたもの。5年の歳月を経てAlcovaの新しい会場である繊維工場跡地Former SNIA Factoryで、色とコントラストそのものの表現したこの作品を配置します。最適化と紛争が進む世界に豊かさがなくならないように。私たちの作品をご覧になる方々が思考と感情の旅に出ることを願います。どうぞご覧ください。

SPREAD 山田春奈 小林弘和

EXHIBITION OUTLINE



タイトル: Ornamental Contrast
(日本語: 観賞用コントラスト)

デザイナー: SPREAD

会期: 2025年4月7日(月)ー13日(日)

時間: 11時ー19時

会場: ALCOVA | Former SNIA Factory
Via Umberto I, 69, 20814 Varedo MB, Italy

プレスプレビュー: 2025年4月6日(日) 9時ー14時

R.S.V.P | ※プレスプレビューにご参加いただける際は、ALCOVAのプレスアクセス許可が必要です。

下記申請リンクより、3月28日までにお申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe6Chhu_pWSB_CuY_ATSwcoISP-IgXXfWVLWJ3BEUC0bQ9_0g/viewform

PROFILE



SPREAD (スプレッド) <https://spread-web.jp>

山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。長い時間軸で環境を捉えるランドスケープデザインの思考と鮮烈な印象を視覚に伝えるグラフィックデザインの手法を融合させ、あらゆる記憶を取り込み「SPREAD=広げる」クリエイティブを行う。

生活の記録をストライプ模様で表す「Life Stripe」、すべて異なる色のグラデーションを空間に配置した「Much Peace, Love and Joy」など、色の表現を追求した作品をミラノ、バーゼル、マイアミ、シンガポール、東京など国内外で展開。

主な仕事に「国立新美術館開館10周年」記念ビジュアル、ジャパン・ハウス ロンドン「The Carpenters' Line」展、JR東日本「Yamanote Line Museum」、工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」、バーバリー「The Burberry Trench」、花王「est」など。Red Dot Design Awardにて2年連続のグランプリなど受賞歴多数。作品集「SPREAD by SPREAD」(青幻舎)刊行。

CONTACT

PRESS CONTACT: daily press 川村 美帆 mihokawamura@dailypress.org 03-6416-3201

GENERAL CONTACT: SPREAD 屋我 真愛沙 yaga@spread-web.jp 090-3794-4615 (現地会場は屋我が担当しております)